

文芸 さくらがわ

俳句

【大和俳句愛好会】

まとまらぬ夢に母いて梅香る

鈴木 ふみい

祈願の灯入れて若葉の溜不動

古橋 益子

今日一日子に癒されて花見かな

安達 幸子

更衣森林浴の歩をのぼす

鈴木 つぎ

若草や少年の声変声期

岩瀬 のぶ子

去年の巢や帰りてうれし夏つばめ

田中 はつひ

芽吹く山くれんとするや夕日燃ゆ

皆川 和子

遠き日をしみじみ思うおぼろ月

鈴木 登美子

一日が事なく終り更衣

田代 てい子

働ける事の幸せ春菜まく

代田 とし

【一般投稿】

遠き山遠くに見えて花辛夷

木下 善信

短歌

【花の室 木崎集】

飲み込みしことばいくつを閉ぢ込めて過ぎ行
けざんざんぶりのいちにち 塚田 沙玲

なでしこの魂まねて生き生きとひとすじの道
歩いてゆかん 石浜 今日子

湖を渡るそよ風顔に受け雲上人のごとくた
たずむ 大久保 まさ子

苦瓜の窓辺に伸びるカーテンに遮光のすだれ
ゆれつつ光る 櫻井 ハル子

ぬばたまの夜の帳りにたをたと衣をたたむ
ねむの細き葉 塩谷 明子

手術医の保証しうれし十年に求めし日記の残
る一年 鈴木 とみ

こでまりの花純白にひっそりとしなやかに咲
く庭の片隅 塚本 幸子

柿若葉キラキラ光る五月晴れ砂遊びの児の独
り言聞く 西岡 和子

葦 真菰さやく根元をちらほらと光を反す一
筋の水 野村 幸男

紅バラが思ひおもひに我を呼ぶ父母夫が潜み
し庭で 深谷 快子

【岩瀬短歌会】

睡み合ふ家族へバスタを打つ娘異国に同化し
小母さんとなる 小林 美瑛子

姿見にふはり廻りて笑まふ娘よ出でゆく背な
を春風が追ふ 岡野 禮子

白富士を背にひた走る若者に日本の未来のた
すき渡したし 浜野和操

陽だまりに古きセーターときゆけば十年前の
うすほこり立つ 五月女 静江

吹く風に垂れし氷柱の水滴の斜となりてわが
窓をうつ 渡辺 しな子

孫志穂の成人式に臨むあき振り袖姿に思ひ溢
る 大関 にち子

はらからの四人集へる写真など一枚もなき白
梅の花 広沢 日出子

南天の葉ごとにつもりし淡雪をばざりと落と
す春の光りは 泉 三郎

まだ光りと思ふ水揺りて浮ききし鳩の小さき
羽ばたき 鈴木 美津子

【岩瀬短歌会】

弓状にしなひて揺るる雪柳「ねこのしつぽ」
と幼ははしやぐ 大関 節子

一夜きを硝子戸を打つ春嵐まどろみもなく夜
は明け初む 安達 悦子

庭に咲く花を手折りて墓参り桜舞う墓前に夫
偲びいる 安達 すみ子

山間の水の流に笹の葉は花びら乗せて永久
の旅路に 角田 玉枝

パンジーの花に囲まれ己が位置占めて芍薬赤
き芽萌え出づ 坪井 ゆき子

畦道に芝桜の花咲き誇り緑の早苗水面に揺る
る 長谷川 玲子

人の舞ふ姿に似しとふ「ひとりしづか」の花
のうつつし絵白妙美し 石川 喜代

【一般投稿】

元気だなあと他人に言われて何となくさびし
さを感じず八十五路生く 広瀬 宣

6月25日(月)
市長と話してみませんか?
～市民の日～

市民の皆様の声を行政に反映するために、市長とお話ししてみませんか。話題はなんでも結構です。皆様のご来場をお待ちしています。

- 時間 / 9時～12時・13時～16時
- 場所 / 市役所 岩瀬庁舎
- 問合先 / 秘書広報課 (☎58-5111・75-3111 代表)